

公明党討論（H28/10/4・火）

公明党議員団を代表して、平成27年度北区一般会計決算並びに四特別会計決算について賛成の立場から討論を行います。

平成27年度の日本経済は、アベノミクスの新3本の矢により、デフレ脱却と経済再生をより確かなものにする経済対策が一体的に行われたことなどから、所得から支出へといった経済の好循環が着実に回り始め、マクロ経済も好転してきました。また、有効求人倍率や完全失業率などの雇用環境は確実に改善し、景気動向については一時的な足踏みは見られたものの^{ゆる}緩やかな回復基調を推移してきました。

しかしながら、地方創生は^{たんしょ}端緒に就いたばかりであり、全国津々浦々の幅広い階層に景気回復や賃金上昇などが実感出来るまでには至っていないことから、今後「成長と分配の好循環」をより確かなものとし、一億総活躍社会の実現を成し遂げることが求められています。

一方、北区においても、区の主要財源である都区財政調整交付金や特別区税について大幅な伸びを期待することは難しく、消費税率8%への引上げにより地方消費税交付金が増収となったものの、地方法人課税の更なる不合理な見直しや、消費税率10%への引上げが延期されたことによる社会保障財源への影響が懸念されるなど、厳しい財政状況が続くと考えられました。こうした中、平成27年度の一般会計、四特別会計では、「北区基本計画2015」で新たに設定された「地域のきずなづくり」と「子育てファミリー層・若年層の定住化」の2つの最重要課題についても積極的に取り組むため、3つの優先課題を中心として、限られた資源を各分野に重点的・効率的に配分するとともに、東京オリンピック・パラリンピックを見据え、北区の新たな魅力や価値を創出する施策を積極的に展開しました。

たとえば、「地震・水害に強い安全・安心なまちづくりに全力」の取り組みでは、道路施設を適切に維持管理するために、路面下空洞調査と緊急対応工事を実施しました。

「長生きするなら北区が一番」の実現では、高齢者あんしんセンターの出張窓口3か所の本格設置、「認知症カフェ」9か所の開設、高齢者いきいきサポーター制度の拡充、ピロリ菌による感染

の有無などを調べる胃がんハイリスク検診の実施などをおこないました。

「子育てするなら北区が一番」をより確かなものにする取り組みでは、妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援のため、北区はぴママたまご面接や安心ママヘルパー事業を実施するとともに、居宅訪問型病児保育利用への助成、幼児2人同乗用自転車等購入費補助をおこないました。また、小・中学校での学力フォローアップ教室や夢サポート教室、イングリッシュプラザのモデル実施などの新たな取り組みを行い、確かな学力の定着と向上に一層取り組みました。

そのほかにも、コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの東十条・神谷地域へのモデル配置による地域の福祉課題への対応、20%プレミアム付き区内共通商品券の発行支援による景気対策、休日の自転車撤去やコールセンター開設による放置自転車対策、小学生から標語を募集しての「北区ecoかるた」の作成、「ROUTE2020 トレセン通り」のPRサインの設置やランニングステーション整備等 東京オリンピック・パラリンピック開催を盛り上げる取り組みなど、わが党が求めてきた事業に対し、幅広く取り組んだことを高く評価いたします。

ここで改めて、決算特別委員会の中で、わが党として特に実現を求めた点について申し上げます。

- 一、土砂災害警戒情報や避難勧告の対象住民への確実な周知・徹底
- 一、コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの全区的な配置
- 一、北区版ネウボラ・子育て世代包括支援センターの確立
- 一、心身障害者福祉手当の精神障害者への支給
- 一、子どもの貧困対策の強化策として、学習支援事業の充実や就学援助の前倒し支給、福祉資金貸付事業の改善と給付型奨学金の創設
- 一、東京北医療センターでの病児病後児保育に対する切れ目のない支援
- 一、幼児2人同乗用自転車等購入補助の再開
- 一、中央公園公衆トイレの早期改修と王子5丁目公衆トイレの存続
- 一、教育先進都市実現の為、小・中学校でのプログラミング教育の推進と不登校対策及び特別支援教室事業の拡充

その他、今回の決算特別委員会で申し上げました各種要望についての実現にむけた積極的な取り組みを求め、平成27年度北区一般会計決算並びに四特別会計決算について賛成いたします。